



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 87

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 87. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1959, 87: 53-57

ISSUE DATE:

1959-12-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186964>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館 月 報

No. 87

1959. 11月 (12月5日)

録 事

UNESCO委託研究の田辺鴻潮流調査のため10月より来所中の大阪学芸大学の中村敦雨氏一行は11月4日調査を終えて帰阪した。

11月11～12日白浜で開催された昭和34年度秋期内海区フロック会議に出席された内海区水産研究所の花岡資所長，安田治三郎，林和夫，新田忠雄各部長，北森良之介，千国史郎各技官は会議終了后実験所を見学，実験所の布施委員と会食研究調査上の打合せを行った。

9月以来明光バス会社観光券による入金は順調にしている模様である。

業 務 概 況

◎ 11月の入場者数

区 分	大 人		小 人		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
水族館発売	9559	62450	306	5782	9865	68232
団体	15831	109490	—	—	15831	109490
交通公社発売	10051	43642	—	—	10051	43642
明光バス発売	21320	146737	239	5723	21559	152460
合 計	56761	362319	545	11505	57306	373824
素 料	養護学校生徒他				40	572

団 体 : 一般 240組, 学生 25組 合計 265組

◎ 11月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金

客 口 発 売	446,155	2,978,155
交通公社クーポン	131,026	670,003
明光バス観光券	—	2,578,357※
予金・橋立金利息	129,000	437,386
雑 収 入	1,562	172,698
魚 類 拂 下	—	1,080
絵はがき拂 下	40620	215,590
計	748,363	7,053,269

※ 明光バス観光券未収分 勤労水交通大人券 24581枚
全 上 小人券 252枚

◎ 11月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	84,230	794,106	
会 議 費	20,248	90,152	
備 品 費	1,040	60,450	
消 耗 費	17,940	142,659	
事 業 費	48,130	376,523	
維持 費	22,745	114,885	
其/他諸経費	119,422	434,550	建物借用料
橋 立 金	204,902	1,355,792	
合 計	518,657	3,369,117	

実験前経費

費 用 目 録	金 額	累 計	備 考
研 究 費	15,000	11,246.3	宮地会長
奨 学 金	—	12,000	
備 品 費	2,080	278,917	図書
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	16,295.1	
役 務 費	—	22,550	
合 計	17,080	588,881	

博物館経費

費 用 目 録	金 額	累 計	備 考
人 件 費	35,830	284,771	
備 品 費	—	15,000	
消 耗 費	—	—	
役 務 費	—	1,860	
合 計	35,830	301,631	

臨時費

支出なし

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	518,657	3,369,117
実験前経費	17,080	588,881
博物館経費	35,830	301,631
臨時費	—	50,000
計	571,567	4,309,629

◎ 11月末現在高

前月よりの繰越	2,566,844
今月の収入合計	748,363
今月の支出合計	571,567
現 在 高	2,743,640

◎ 前年度との比較

	1958	1959	増 減
入 場 者 数	41,083	57,306	+ 16,223

水族館記事

- ◎ 中旬から水槽の水温が20℃を下るようになった。タイマイ(N0.27)、およびアカウミガメ・アオウミガメ(N0.22)の水槽を温めるために、例年通り電熱器をとりつけた。なお、N0.28のアカウミガメの赤ん坊のためには、N0.27にとりつけた電熱器からゴム管で直接水を導くようにした。温度の自動調節は出来ないが観測した結果では27℃を上ることはないようである。
- ◎ イザリウオが久しぶりに11月中あわせて5個体入槽した。うち3個体は死亡した。餌付けはむづかしくまだ成功していない。
- ◎ エイの類は9月以来水槽に絶えていたが、アカエイ 10個体、カンギエイ 5個体が入槽した。殆んどは2日以内に死亡し、現在アカエイ 4個体のみ生き残っている。
- ◎ イセエビ類が多数入槽した。
- ニシキエビ : 2個体、 ゴシキエビ : 2個体、 カノゴイセエビ : 9個体、
ゾウリエビ : 38個体、 セミエビ : 7個体
- ◎ 11月30日現在、観覧水槽に収容中の動物は総計 147種、1296個体以上で、その中内訳は次の通り。

カイメン類	1種、	多毛類	1種、	ウミシタ類	2種、
ヒドロ虫類	1種、	カブトガニ類	1種、	ヒトデ類	6種、
ウミトサカ類	2種、	エビ類	8種、	ウニ類	9種、
ヤギ類	6種、	ヤドカリ類	3種、	ナマコ類	7種、
イソギンチャク類	7種、	カニ類	13種、	ホヤ類	1種、
イシサンゴ類	11種、	ヒザラカイ類	1種、	軟骨魚類	1種、
スナギンチャク類	1種、	ニ枚貝類	6種、	硬骨魚類	44種、
ハナギンチャク類	1種、	巻貝類	8種、	カメ類	3種、
ホウキムシ類	1種、	イカ類	2種、		

資 料

- ◎ 11月の気象 (9時観測)
 南水槽室 (水温比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(17)	6	6	5
室 温(°C)	$\frac{23.7 \sim 17.8}{20.1}$	$\frac{17.9 \sim 14.9}{15.9}$	$\frac{18.9 \sim 12.9}{14.8}$
水 温(°C)	$\frac{20.00 \sim 21.90}{21.14}$	$\frac{18.99 \sim 20.00}{19.60}$	$\frac{18.43 \sim 19.50}{18.77}$
比 重(0.5)	$\frac{24.12 \sim 25.09}{24.66}$	$\frac{24.51 \sim 25.20}{24.90}$	$\frac{24.27 \sim 25.28}{24.98}$

取入口

水 温(°C)	$\frac{20.68 \sim 22.70}{21.68}$	$\frac{19.86 \sim 20.78}{20.22}$	$\frac{18.56 \sim 22.54}{20.07}$
比 重(0.5)	$\frac{24.33 \sim 25.06}{24.81}$	$\frac{24.40 \sim 25.31}{25.01}$	$\frac{24.92 \sim 25.39}{25.19}$

来 訪 録

11月29日 大阪自然科学博物館学芸員辻本修氏(水族館飼育動物の撮影)

昭和34年12月5日 (N0 87)

鑑査兼 発行所 内 海 富 士 夫

発行所 瀬戸臨海実験所
 和可山県 白浜町
 瀬戸臨海実験所内
 (Tel. 白浜温泉 515)